

第495回 三水会便り

健やかに明るく活気あることを願う 大胆な計画を状況に応じて慎重に実行

新年明けまして、おめでとうございます。みなさまの、より一層のご健康とご多幸を祈念申し上げます。いつまでも健やかに楽しく山登りを続けたいものですね。

昨年は、とんでもない年でした。新型コロナウイルスは、なお猛威を奮っています。年末には都内の新規感染者がついに1日1000人を超え、また海外で変異種ウィルスの発生が報じられました。これらの結果、一年を通じて三水会の例会・現地集会在たびたび中止を余儀なくされました。45周年記念事業も延期したままです。まことに残念です。

大きな変化は見込めません。計画は大胆に立案しなければなりません。しかし、実行は諸般の状況に応じて慎重にならざるを得ない場合があります。みんなで知恵を出し合って、意義あるクラブ・ライフを実現していこうではありませんか。
(高橋重)

1月の例会

■1/20 1:30～ 104号室、大塚幸美/JAC ホームページの改革進める 機関誌「山岳」・会報「山」などをデジタル化し公開

日本山岳会創立120周年記念事業として日本山岳会ホームページを大きく変える作業が進んでいます。具体的には、会報「山」・機関誌「山岳」をデジタル化して一般に公開するほか「写真で見る日本山岳会の100年」、「シュレーギントワイト アトラス」、また「マナスル初登頂」や「エベレスト登頂」など遠征隊記録をデジタルで公開します。すでに会報「山」のすべて、機関誌「山岳」の一部をホームページに収録しました。「山」には目録が整備されており、三水会の動きがよく分かります。デジタル委員会の大塚幸美委員長に事業の概要を話していただきます。



シュレーギントワイト アトラス図

1月の現地集会

■1/12(火) 鶴岡八幡宮と衣張山・名越切通し <雨天中止>

集合/JR鎌倉駅東口 9:30◇コース/鎌倉駅東口→鶴岡八幡宮→金沢街道大御堂橋→田楽辻子のみち四つ角→山道入口→衣張山→浅間山ハイランド住宅地(緑地公園)→お猿畠の大切岸→名越切通→横須賀線踏切→長勝寺バス停(バス約8分)鎌倉駅◇徒歩/約3時間◇幹事/増田達治, 田中恵美子◇参加連絡/増田 0466-25-5599, 090-2462-7916(SMS可), [Email/tatsujima3541@aroma.ocn.ne.jp](mailto:tatsujima3541@aroma.ocn.ne.jp)

■コロナ情勢次第で中止の可能性あり。年明けに最終決定。

2月の現地集会

■2/25(木) JR中央線/要害山・コヤシロ山・尾続山 <雨天中止>

集合/JR上野原駅 8:25, 飯尾行きバス乗車 8:32→8:50 尾続バス停→尾続山→コヤシロ山→要害山→風の神様→鏡瀬橋バス停→上野原◇所要時間/約4時間◇歩行距離/約6km, 高低差300m◇係り/高橋あかね 携帯 09032077377, Email/kilimanjaro5895tanzania@docomo.ne.jp ◇参考列車/八王子 7:52→高尾(甲府行きに乗り換え)8:01→8:25 上野原



◇三水会当面の予定

実施	例会	現地集会
1月	1/20 大塚幸美/ホームページが変わる	1/12 新年会/鎌倉 担当増田・田中
2月	2/17 石塚嘉一/昆虫網を担いで60年	2/25 JR中央線/要害山 担当高橋あ

古市進/近況報告

週2～3回の散歩を続けている。11月は高尾・青梅に家族旅行

古市進会員から近況報告をいただきました。お元気な様子。なによりです。喜々、読ませていただきました。「三水会便り」に収録、みなさんに紹介します。

コロナ以来、Stay homeの日々を送っています。いつも送付いただいている「三水会便り」に懐かしい名前を多くみつけ、皆さんがしっかり三水会を楽しんでいる様子を嬉しく思っています。散歩は週2～3回。会報「山」(850～900号)の合本が出来上がった知らせを受け、ルームを訪れました。7月の三水会の例会に出席して以来でした。いろいろなお話をいただいた中村純二名誉会員の訃報を知りました。97歳でした。謹んで合掌です。11月18日は、10か月ぶりの家族旅行で「かんぼの宿青梅」に一泊し、「goto トラベル」の恩恵をちよっぴり利用させていただきました。足を伸ばし高尾山薬王院にもお参りし、久しぶりに高尾山の山頂にも訪れることができました。ウィークデーにもかかわらず人出は相当なもので“コロナ以前”に戻ったか?と思うばかりでした。これでは第三波も当然かと心配でした。一泊して夜明けの青梅。蛇行する多摩川の背景となる奥多摩の山並みは朝日に映えて、青梅丘陵と、その左手に連なる高水三山、棒ノ折、川苔山、さらにゆるやかな尾根でつながる本仁田山。いずれも長年親しんだ懐かしい山でした。翌日は西立川から昭和記念公園に立ち寄りましたが、すっかり疲れ年齢を感じました。我が身丈の現実を思い知らされた小旅行でした。

田口憲司/資料提供

竹寺現地集会「寄せ書き」に坂倉、今井、沼倉らが署名



ビジターとして度々、例会に参加されている田口憲司会員から、三水会が毎年2月に竹寺に宿泊するようになって10年目にあたる1988(昭和63)年2月6日に作成した竹寺現地集会「寄せ書き」(写真)を提供いただいた。エーデルワイス・クラブと合同で宿泊したことを記し、計26人が寄せ書きしている。坂倉登喜子(会員番号3041・敬称略、以下同じ)、今井喜美子(3019)をはじめ、滝沢ちよこ(10348)らがエーデルワイスのメンバーとして署名、三水会から沼倉寛二郎(2185)、勝田房治(5029)をはじめ平野武利(10038)、岡野修(9992)、横溝修一(9651)、乾能尚(9921)らが名を連ねている。坂倉はエーデルワイス・クラブを立ち上げた。沼倉は三水会の初代代表。今井は日本山岳会が創立された年/1905年生まれ。百周年記念式で百歳の誕生日を祝った。岡野は会の創立に尽くし

た金次郎のお孫さん。平野は山頂のパノラマ写真で名を馳せた。乾はお仕事の関係で韓国の山に詳しくった。

12月の報告

■例会19日/忘年会中止、現地集会21日/鳶尾山中止

19日に予定していた恒例の忘年会は集会室の使用制限で、21日の現地集会は交通機関での新型コロナウイルス感染防止のため、いずれも中止した。

三水会便り 第495回 発行2021年1月1日
東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会三水会
便り担当 北口マリ子, 山口延子, 文責/高橋重之